取扱説明書

sachtler

FSB 14T MK II Fluid Head

FSB14T MkII フルーイドヘッド

製品コード S2077-0002

JP

www.sachtler.com

Copyright © 2021

著作権所有について

原版：英語

あらゆる国や地域において本書の著作権を所有しており、また本書の無断複写・転載を禁じます。本書の内容のいかなる部分も Videndum Group Plc. の事前の同意または許可なしに、写真複写、写真、磁気またはその他これらに限定されない方法で検索システムへの保存、送信、複写、複製をすることはできません。

免責事項

本書に記載の情報は、本書の印刷時点では正確と判断されている情報です。Videndum Production Solutions Ltd は、本書に記載の情報および仕様を予告なく変更する権利を有します。変更内容は本書の改訂版に反映されます。

弊社は、本書を定期的に改訂して、製品仕様や特性の変更を反映するよう努めています。弊社製品の重要な機能に関する情報が本書に記載されていない場合は、ご一報ください。本書の最新版は、弊社ウェブサイトからご利用いただけます。

Videndum Production Solutions Ltd は、予告なく本製品のデザインおよび機能を変更する権利を有します。

商標

すべての製品の商標および登録商標は Videndum Group Plc. の所有物です。

その他すべての商標および登録商標は、それぞれ各社の所有物です。

発行者

Videndum Production Solutions Ltd

目次

安全上の注意事項 2
本書に使用されている警告マーク 2
健康と安全 2
取り付けと設置 2
保守 3
本書について 4
使用目的 4
本書について 4
保証規定 4
延長保証 4
シリアルナンバーの位置 4
梱包内容 5
各操作部の名称 6
左側面部 6
右側面部 7
設置 8
プリズム水準器 8
フルーイドヘッドの取り付け 8
三脚への取り付け 8
ヘッドをフラットベースに変更 9
カメラの取り付けと取り外し 10
パンバーの取り付け 12
パンバーの調整 12
パンバーの設定 13
カメラバランス調整 14
重心の調整 14
重心の追加調整 16
カウンターバランスの調整 16
ドラッグの調整 18
運搬 19
保守 20
技術仕様 21
通知事項 22

安全上の注意事項

本製品の安全な取り付けおよび取り扱いに関する重要な情報です。本製品を使用する前に、必ずお読みください。安全な取り扱いのために、下記の注意事項を遵守してください。

安全な取り扱い方法を理解してから、本製品を使用してください。

本書を保管し、必要なときに参照してください。

本書に使用されている警告マーク

本書には、安全上の注意事項が記載されています。人身傷害の危険や本製品の損傷を回避するために安全上の注意事項を遵守してください。

警告!
人身傷害のリスクまたは他人に危害を加えるリスクがある場合、左記のマーク「**警告**」のコメントが表示されます。

注意!
製品、関連機器、プロセスまたは周囲に損傷を与えるリスクがある場合、「**注意**」のコメントが表示されます。

製品取扱説明書を参照してください。

警告!
指や手を挟んで怪我をしないよう注意してください。

健康と安全

警告! 人身傷害または他者への危害につながる危険があります。すべての人が十分に訓練され、正しい取り扱い手法および健康と安全に関する規制を順守する必要があります。使用する国または地域の関連機関の責任の下に、いかなる時にも安全な作業習慣を徹底してください。

取り付けと設置

警告! 三脚に耐荷重以上のヘッドやカメラ、その他アクセサリーなどを取り付けないでください。

警告! 指が挟まれる危険性があります。フルーイドヘッドのプラットフォーム部（トッププレート／バランスプレート）下部とボディ上部との間に指を入れないでください。

注意! カメラを取り付けた状態で三脚を使用していない場合や、三脚上でフルーイドヘッドの水平出しを行う場合は、ヘッドのパンブレーキとチルトブレーキを必ずかけてください。

注意! フルーイドヘッドの取り付け時や取り外し時、三脚の高さや脚位置の調整時には、カメラを外してください。やむを得ない場合はカメラをしっかりと押さえてください。

注意! カウンターバランスやカメラ位置の調整時には、パンバーから絶対に手を離さないでください。またパンバーを使用して三脚やフルーイドヘッドを持ち上げたり移動したりしないでください。

注意! パンバーには重いものを取り付けないでください。

注意! 運搬の際は、必ず事前にカメラを取り外してください。

保守

⚠ **警告!** 認定外の部品やアクセサリーを取り付けたり、認定外のサービス担当者が修理を行ったりした場合、製品の安全性に悪影響を及ぼす恐れがあります。製品保証条件も無効になる可能性があります。

⚠ **注意!** 電池交換の際は、本製品で使用することが推奨されたものと同一または同等タイプの電池のみを使用してください。

使用目的

Sachtler FSB II フルーイドヘッドは、オペレータが広範な角度によって総体的な画像管理を行えるようにするスムーズなパン・チルト動作を実現するために開発されました。

本書について

本書は、フルーイドヘッドの正しいセットアップ、操作、および保守の手順を示す目的で作成されています。

保証規定

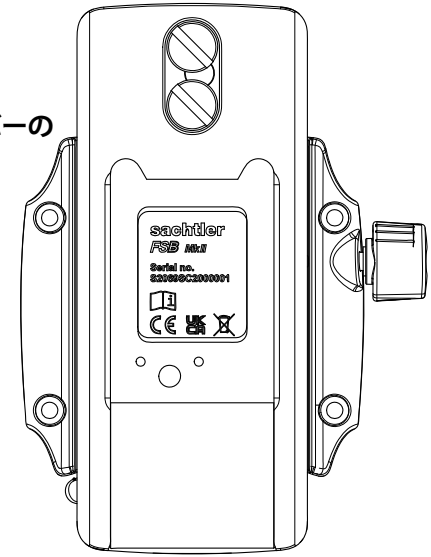
本製品の保証期間は 1 年間です。

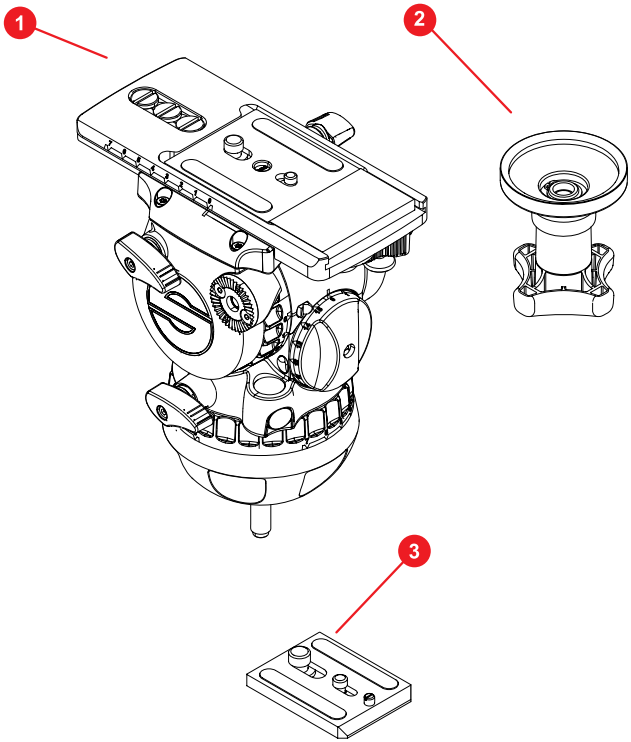
製品保証に関しましては、製品に添付された保証規定をご参照ください。

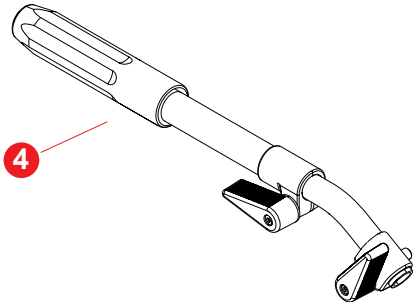
延長保証

https://forms.gle/EMqibBJ3k7QV8LmE6 にて製品登録を行っていただきますと、保証期間が 1 年間延長され、計 2 年間になります。

シリアルナンバーの位置

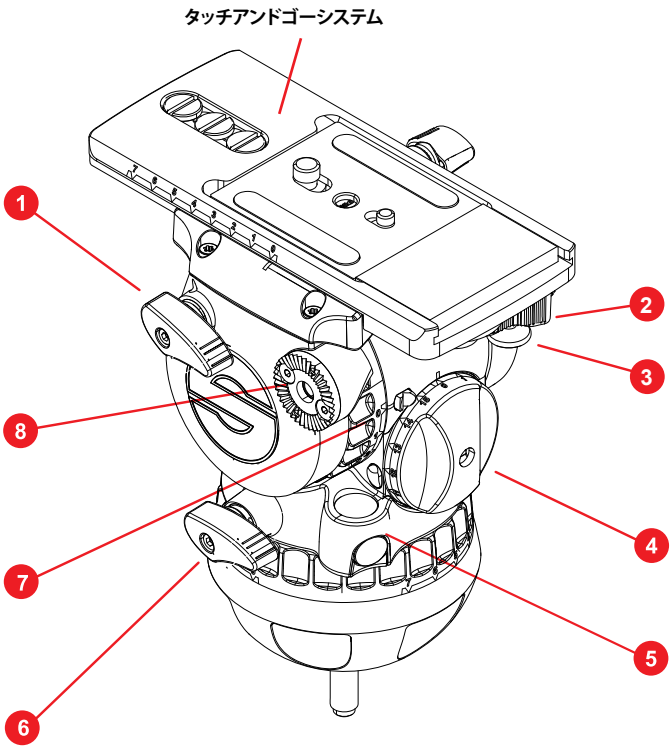






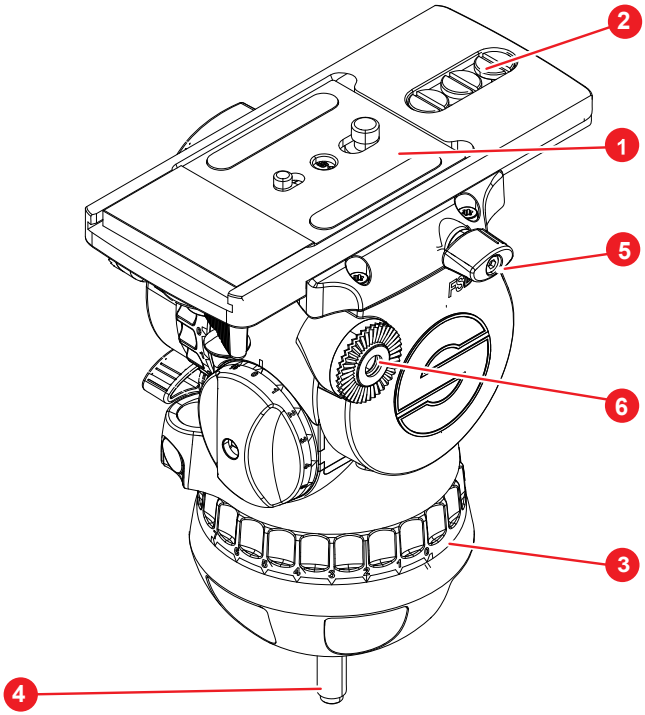
項目	説明	製品コード
1	FSB14T II フルーイドヘッド（タッチ＆ゴー）	S2077-0002
2	クランプノブ 100mm	S2052-1100
3	タッチアンドゴーカメラプレート 16	1064
4	パンバー	3470

左側面部



1	チルトブレーキノブ
2	タッチ＆ゴークイックリリースレバー
3	タッチアンドゴー安全ロック
4	カウンターバランス調整ノブ
5	タッチバブル水準器
6	パンブレーキノブ
7	チルトドラッグダイヤル
8	左パンバー取付け座（菊座）

右側面部



1	タッチアンドゴーカメラプレート S
2	予備カメラネジ
3	パンドラッグダイヤル
4	クランプノブ用マウント
5	バランスプレート固定ノブ
6	右パンバー取付け座（菊座）

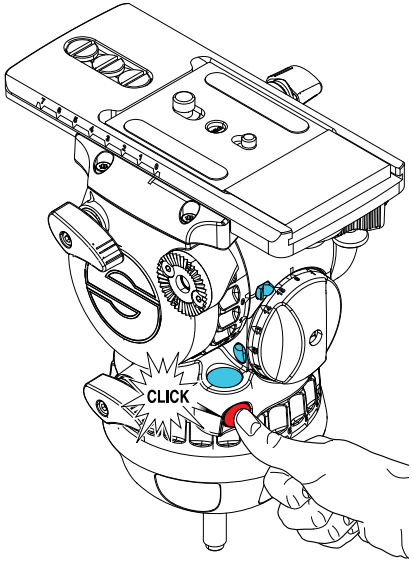
プリズム水準器

ヘッドの位置が高すぎて気泡を上から見ることができない場合に、横から見えるようにプリズムを備えています。パンドラッグノブも示しています。

このプリズムには照明のオン／オフスイッチも組み込まれています。

プリズム水準器ウインドウを押すと照明が作動します。（右図）

1. ウインドウを短く押すと、水準器 LED が約 10 秒間点灯します。
2. ウインドウを 1 秒以上押し続けると、水準器 LED とチルトドラッグおよびカウンターバランス照明が約 20 秒間点灯します。
3. いずれかの照明がオンになっているときにウインドウをもう一度押すと、すべての LED が消灯します。



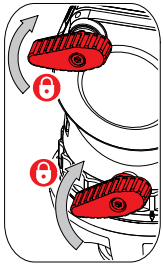
フルーイドヘッドの取り付け

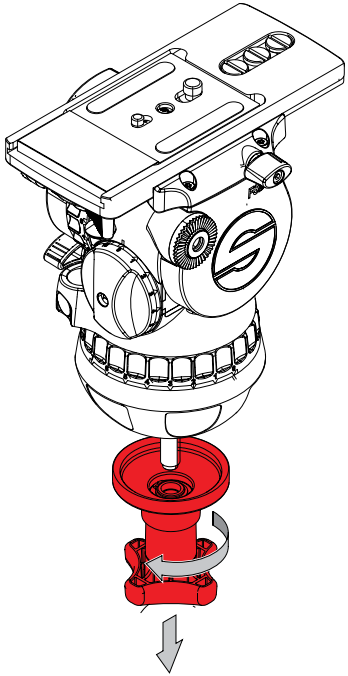
フルーイドヘッドは、クランプノブを使用して、Sachtler 100 mm の三脚上に設置するよう設計されています。

三脚への取り付け

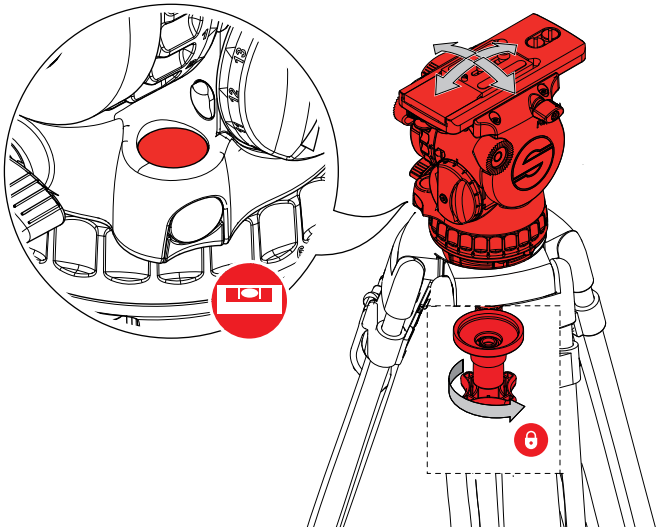
1. パンおよびチルトブレーキを下図の方向に回し、片手でしっかりとヘッドを固定します。

2. クランプノブを取り外し、フルーイドヘッドを三脚に配置したうえでクランプノブを再び取り付けて緩く締めます。



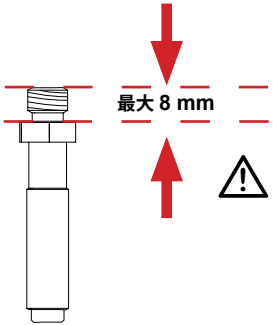


3. クランプノブを緩め、水準気泡が中心となるようにヘッドを動かします。クランプノブを締め、水準気泡が中心位置を保つことを確認します。



ヘッドをフラットベースに変更

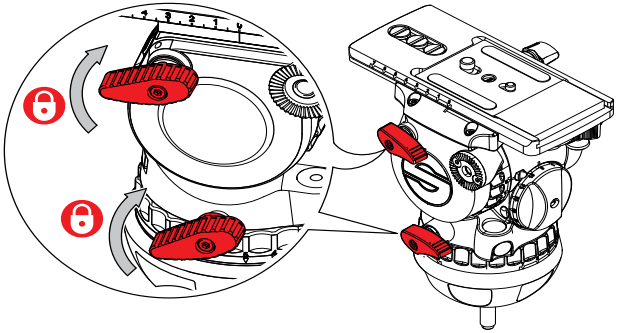
中央のクランプノブスタッドを回して外し（後の使用のため保管）、ペデスタルまたはスライダ用のフラットベースを作成します。



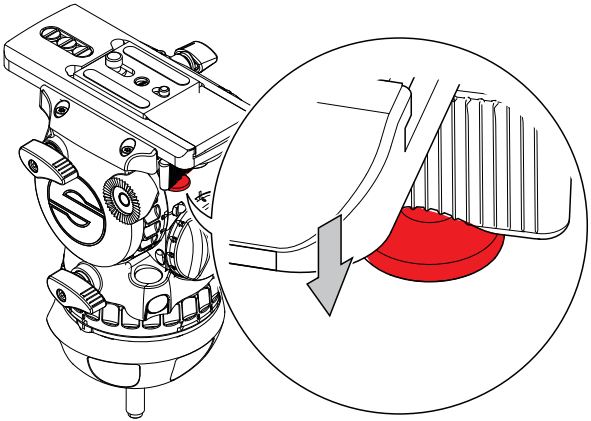
注意! 損傷の危険。ピンを取り付けるときのネジ長は最大 8 mm です。

カメラの取り付けと取り外し

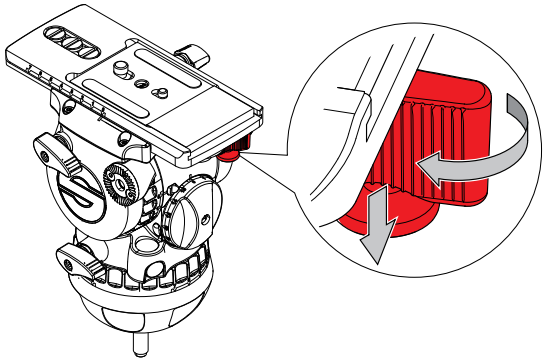
1. パンブレーキとチルトブレーキをかけます。



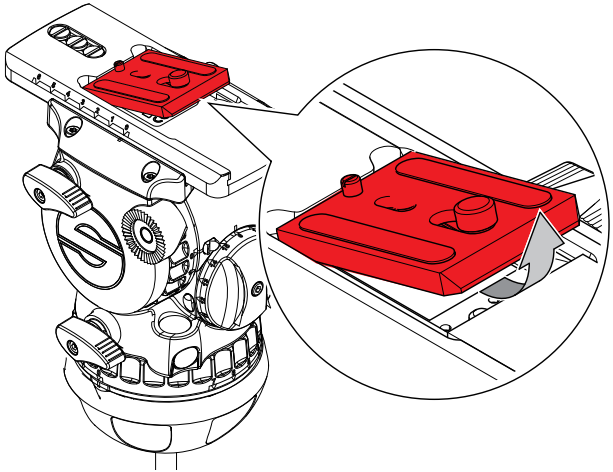
2. 一方の手でカメラプレートまたはカメラを押さえます。親指と人差し指でクイックリリースレバーを握り、安全ロックを引き下げます。



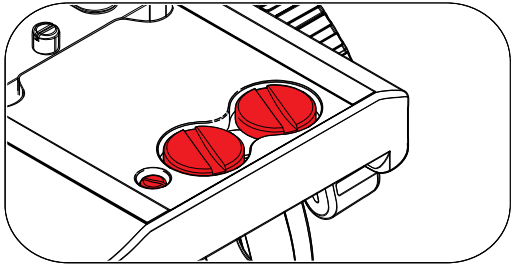
3. 安全ロックを引き下げたままレバーを出来るだけ左へ動かしてください。

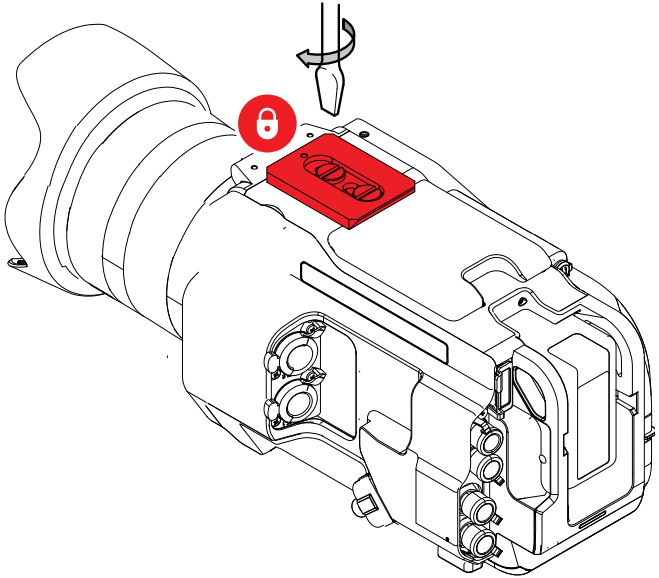


4. カメラプレートまたはカメラがスライディングバランスプレートから外れます。

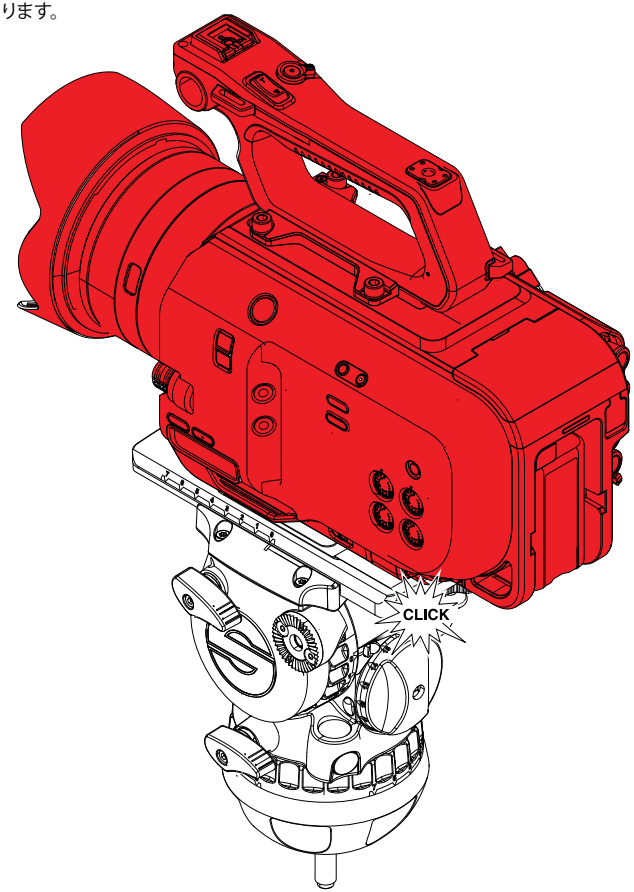


5. カメラの重心付近にカメラプレートを装着します。追加のネジはスライディングバランスプレートアセンブリに保管されています。



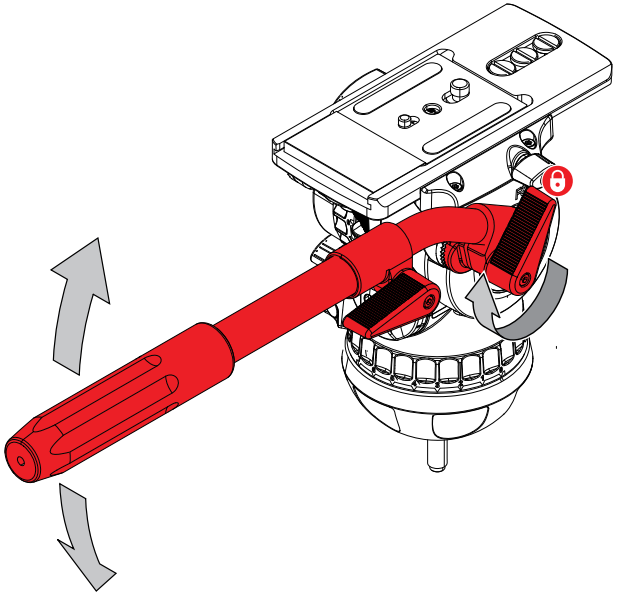


6. カメラプレートとカメラをスライディングバランスプレートに取り付けます。自動的にロックがかかり、クイックリリースレバーがカチッと鳴って元の位置に戻ります。



パンバーの取り付け

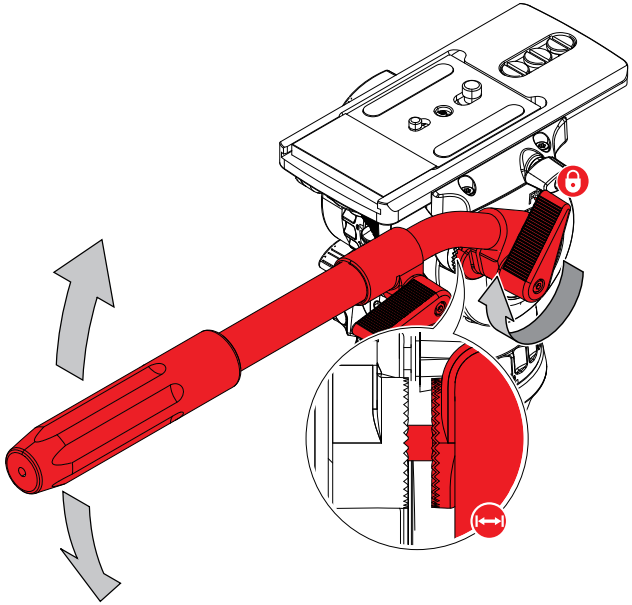
パンバーを取り付けて任意の位置に調整し、クランプネジを締めて菊座の歯が完全にかみ合うようにします。



パンバーの調整

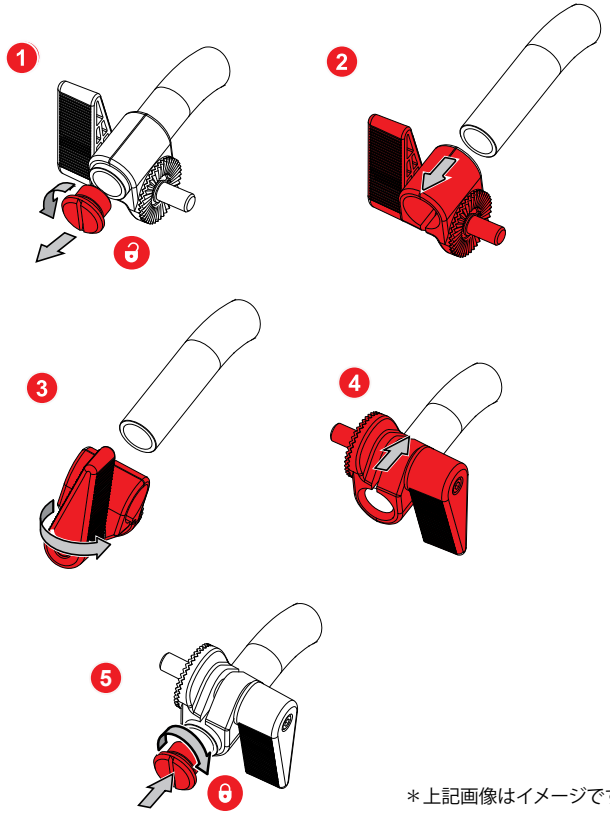
クランプネジを十分に緩めて菊座が回るようにします。

パンバーが任意の位置になったらクランプを締めます。



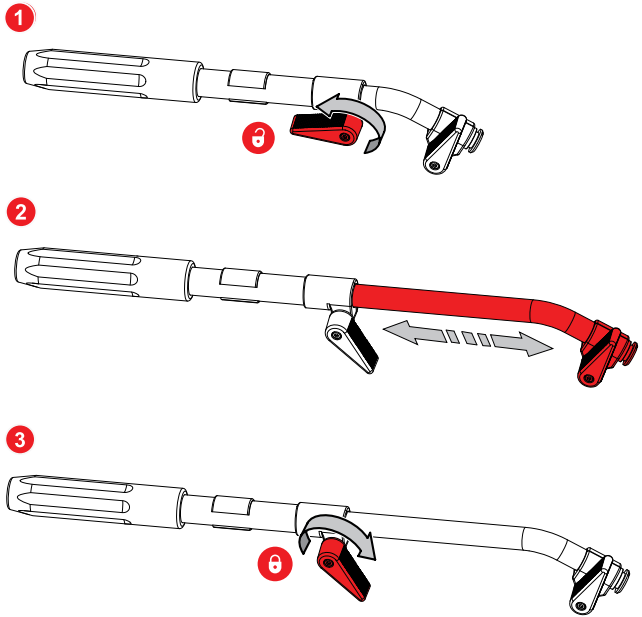
パンバーの設定

通常、パンバーはフルーイドヘッドの右側に取り付けられるように構成されています。左側に取り付ける場合は、パンバーを下図のように組み換えることができます。



＊上記画像はイメージです。

次のようにパンバーを伸縮させることができます。



カメラバランス調整

フルーイドヘッドの操作前に、積載物（カメラ、レンズ、装着するその他のアクセサリ）のバランスを正しく調整して、安全で信頼性の高い操作を行えるようにしてください。

警告! 積載物のバランス調整を行う際は、バランス調整されていない積載物が突然落下する危険性があります。正しく設定するまでは、積載物をしっかりと押さえるようにしてください。

警告! 指が挟まれる恐れがあります。フルーイドヘッドのプラットフォーム部（トッププレート／バランスプレート）下部とボディ上部との間に指を入れないでください。

注意! カウンターバランスやカメラ位置の調整時には、パンバーから絶対に手を離さないでください。

注意! カメラ、パンバー、およびすべてのアクセサリーの操作位置への取り付けは、ヘッドのバランス調整前に行ってください。機材を後で取り付けたり調整したりした場合、フルーイドヘッドのバランスに狂いが生じる恐れがあります。

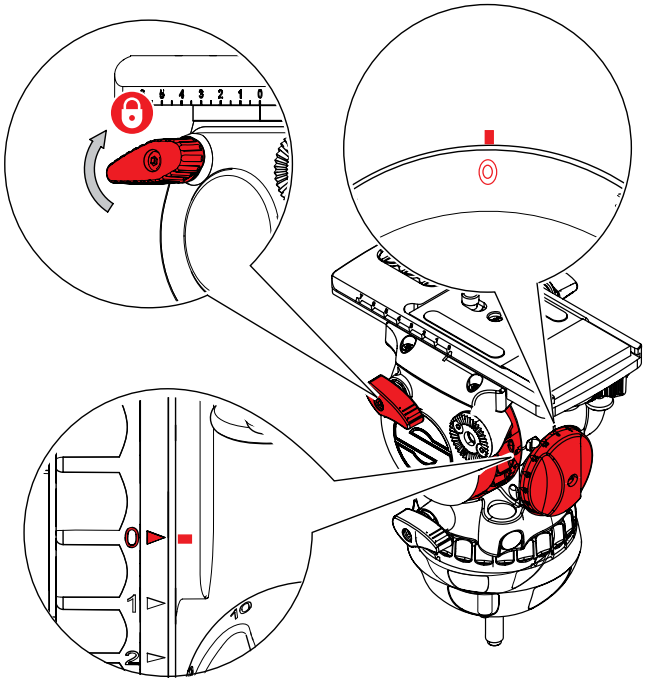
重心の調整

カウンターバランスの調整前に、積載物の重心をフルーイドヘッドの回転軸の中心に正確に合わせる必要があります。

バランス調整前に、ヘッドが水平であることを確認してください（8ページの「フルーイドヘッドの取り付け」を参照してください）。

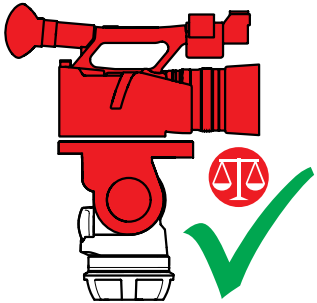
1. チルトブレーキをかけ、チルトドラッグの設定を「0」に合わせます。取り付ける積載物に応じてカウンターバランス調整ノブを設定します。

カウンターバランスの設定変更は、ヘッドが水平位置を通過する際に有効となりますのでご注意ください。



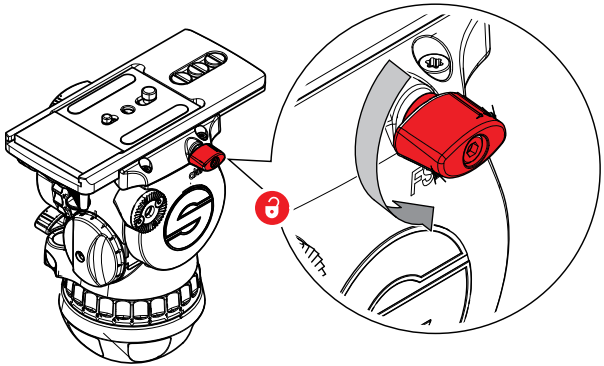
積載物の重心バランスの調整

2. プラットフォームが水平位置で止まる（カメラが真っ直ぐ前方を向く）場合やいずれかの方向に均等に傾く場合は、重心バランスが正しく取れています。パンバーをしっかりと持ち、チルトブレーキを解除します。積載物の動き方や停止位置を確認してください。

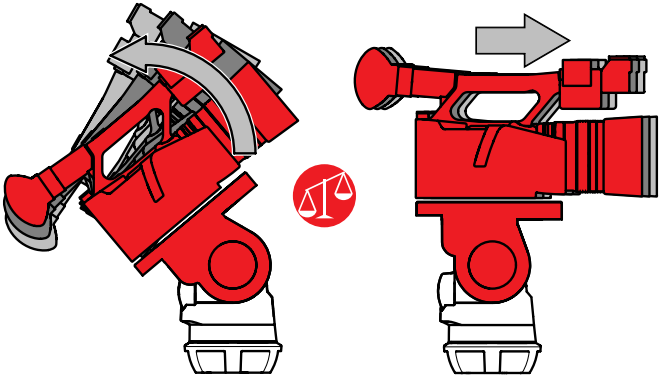


3. 積載物がいずれかの方向に傾く場合：

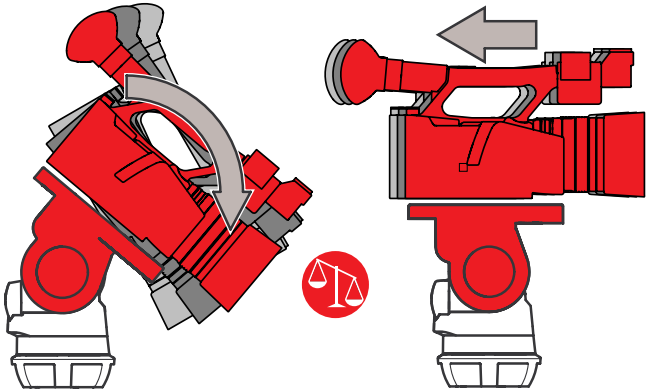
(a) カメラ（バランス）プレート固定ノブを緩めて、カメラプレート（バランスプレート）が前後にスライドできるようにします。



(b) 積載物が後方に傾く場合は、ヘッドの前方に積載物をスライドし、カメラプレート（バランスプレート）を再度ロックします。



(c) 積載物が前方に傾く場合は、ヘッドの後方に積載物をスライドし、カメラプレート（バランスプレート）を再度ロックします。

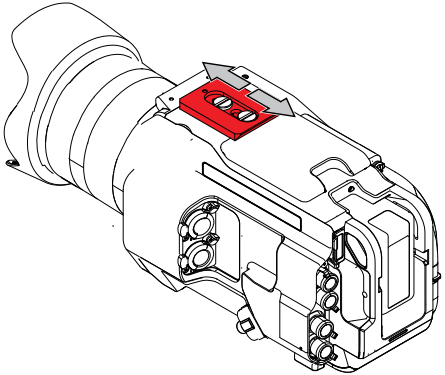


(d) 積載物の動きを再度確認します。さらに調整が必要な場合は、**1** から **3** までの手順を繰り返します。

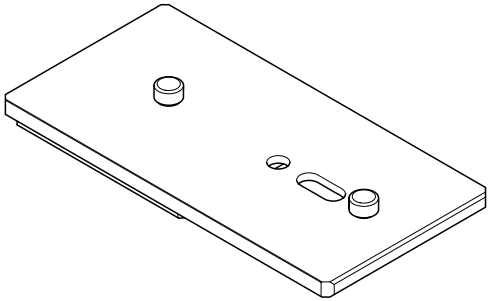
重心の追加調整

通常の方法で積載物の重心を正しくセットできない場合は、以下の方法をお試しください。

1. カメラプレートを動かして、積載物を必要な方向に更にずらします。



2. タッチアンドゴー：アクセサリとして入手可能な C.O.G プレート（# 1063）を使用します。

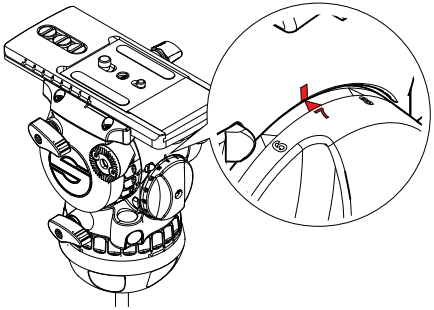


カウンターバランスの調整

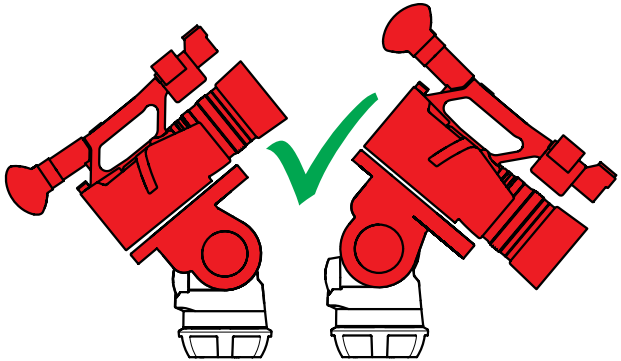
積載物のバランスを正確に調整するため、フルーイドヘッドは 15 段階のカウンターバランス調整機能を備えています。

カウンターバランスを別の設定に変更するには、ヘッドを水平位置より通過させて有効にする必要がありますのでご注意ください。

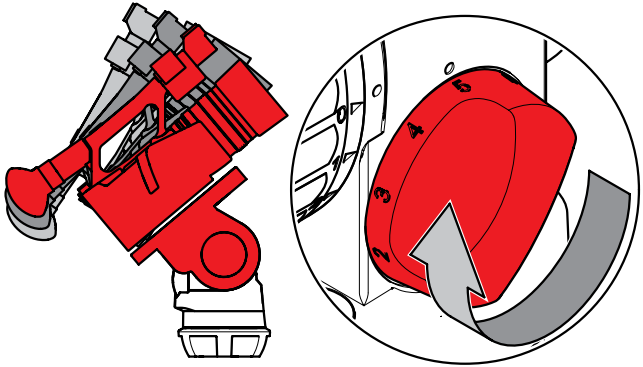
1. カウンターバランス調節ノブを中間設定（7）にセットします。



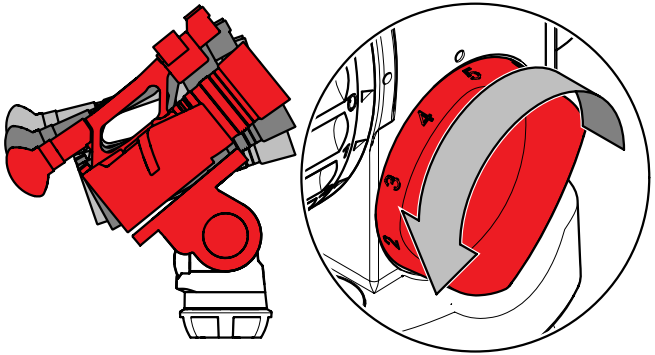
2. 積載物を両方向に約 30°チルトして放します。離したときに積載物が同じ位置に留まる場合は正しくバランスが取れています。



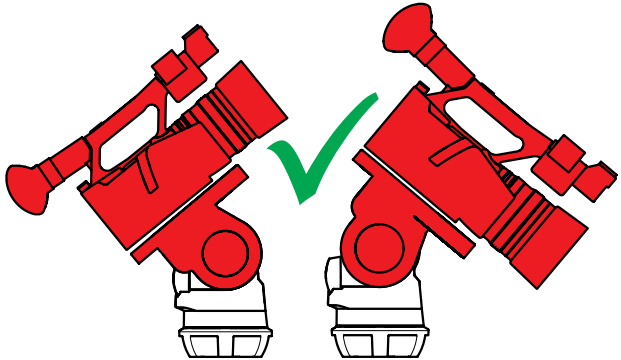
3. 放したときに積載物が上方に動き続ける場合は、バランスが強すぎる位置にセットされています。カウンターバランスアジャスタの設定を 1 段階ずつ下げてテストし直します。



4. 放したときに積載物が下方に動き続ける場合は、バランスが弱すぎる位置にセットされています。カウンターバランスアジャスタの設定を 1 段階ずつ上げてテストし直します。



5. 積載物をプラスおよびマイナスの移動角度に傾け、希望しているチルト角に留まることを確認します。



積載物の角度が上下する場合は、バランスが取れるまで手順 3 から 4 を繰り返します。

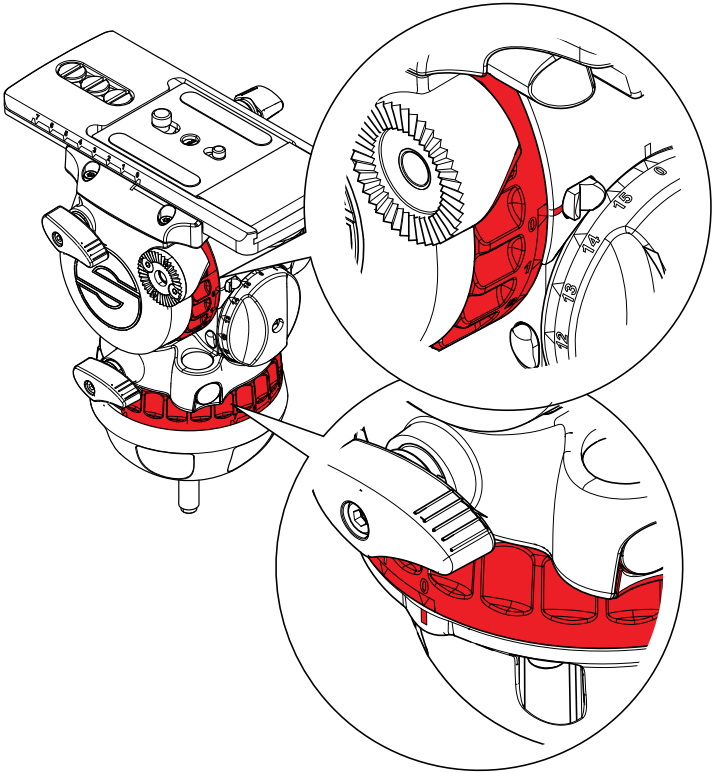
ドラッグの調整

フルーイドヘッドは、7 段階のパンおよびチルトドラッグ制御機構を備えています。ドラッグを使用することにより、撮影中にフルーイドヘッドを動かす際の衝撃や振動をおさえることができます。また、ドラッグは完全に解除することもできます。

注意! ドラッグダイヤルは、必ず目盛りの位置にセットしてください。ドラッグダイヤルを目盛りの間にセットした場合、フルーイドヘッドに深刻な損傷を発生させる恐れがあります。

パンおよびチルト制御に同じドラッグ規定値を適用することにより、正確な動きに加え、斜め方向の動きも可能になります。

1. パンおよびチルトドラッグ制御機構を必要な目盛りの位置（1：最低、7：最高）に回して矢印を点の目印にそろえます。ブレーキを解除し、カメラをゆっくりとパンまたはチルトしてドラッグをかみ合わせます。
2. ドラッグダイヤルを **0** の位置に回して、ドラッグを完全に解除します。



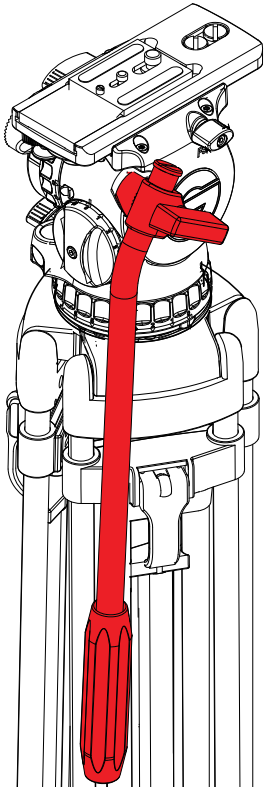
運搬

長期にわたるフルーイドヘッドの、スムーズで信頼性の高い操作を保証するため運搬中はそれぞれの操作部に次の設定を適用してください。

ブレーキ	フリー（0）
カウンターバランス	最大（15）
ドラッグ	最小（0）

パンバー装着時の運搬

パンバーを装着した状態でフルーイドヘッドを運搬するときは、損傷を防ぐため、三脚の脚を付けたままにし、可能であれば縦置きで収納してください。



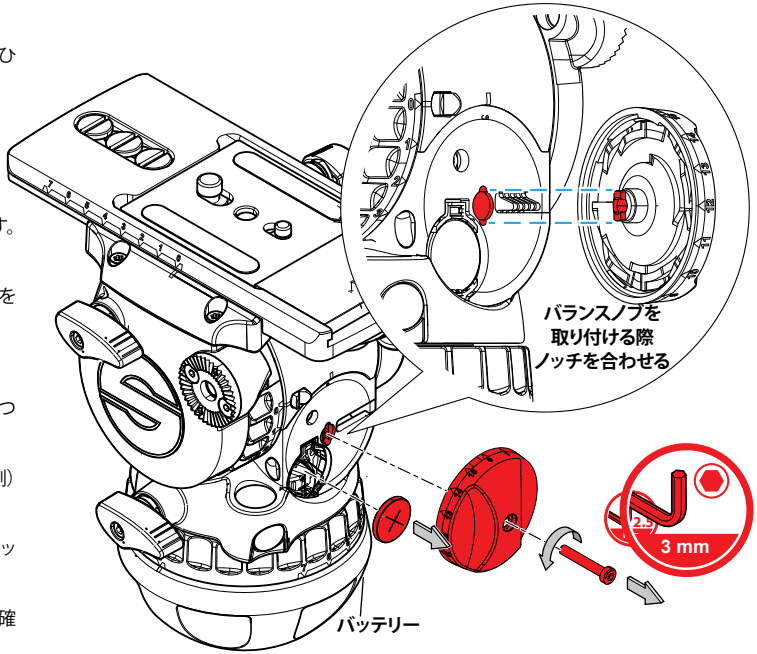
清掃と点検

フルーイドヘッドは、柔らかい布を使用して定期的に清掃してください。比較的ひどい汚れの場合は、柔らかいブラシと中性洗剤を使用してください。

電池の交換

照明付きプリズム水準器の電源は標準型ボタン電池「CR2032(3V)」1 個です。最初にカウンターバランスを 0 に設定してください。

1. 3.0 mm の六角レンチを使用して、カウンターバランスノブから六角ボルトを取り外します（反時計回りに回します）。
2. カウンターバランスノブの部品を取り外すと、バッテリーが見えます。
3. マイナスドライバー等を使用してバッテリーを取り出します。電池の廃棄については、23 ページの「廃棄電池の処理」の項を参照してください。
4. 交換の際には、電池の極性が合っているか確認してください。（プラス側が外側）プリズム水準器のスイッチを押し、照明がつくか確認してください。
5. カウンターバランスノブを組み立てなおします。ノブのセンターピースはヘッドのノッチ（12 時と 6 時）と位置を合わせる必要があります。
6. 六角ボルトを元の位置に戻して締めます。カウンターバランスノブの動作を確認し、正常に動作することを確かめてください。



日常のメンテナンス

スムーズな動作を保つため、定期的にパンおよびチルトドラッグの目盛りの全範囲にわたって動かしてください。

質量
FSB 14T II 3.2 kg

最大積載重量
FSB 14T II 16 kg

高さ
FSB 14T II 186 mm

ドラッグ（パンおよびチルト）
FSB 14T II 7 段階および 0

カウンターバランスの段階
FSB 14T II 15 段階および 0

チルト角
+90°～ -70°

プラットフォームのスライド範囲
タッチ＆ゴー - 70 mm

温度範囲
-40°C ～ +60°C

カメラ取付具
タッチ＆ゴーカメラプレート 16（#1064）

パンバーのタイプ
パンバー DV(伸縮型)
直径 18/22/32 mm
長さ 350 ～ 520 mm

バッテリー
CR 2032、3 V

ボウルサイズ
FSB 14T II 100 mm

当社は、技術の進歩に基づき本製品を変更する権利を有します。

通知事項

UK 適合宣言

Videndum Production Solutions Ltd. はその単独の責任において、本書に詳述する製品が次の英国法令のすべての関連規定に準拠していることを宣言します。

The Electromagnetic Compatibility Regulations 2016

The Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment Regulations 2012

適合宣言の写しはご要望に応じてお渡しすることが可能です。

EU 適合宣言

正式代表者である Videndum Production Solutions GmbH のサポートを受ける Videndum Production Solutions Ltd. は、その単独の責任において、本書に詳述する製品が次の EU 指令のすべての関連規定に準拠していることを宣言します。

Electromagnetic Compatibility Directive（EMC 指令）2014/30/EU

RoHS 2011/65/EU

適合宣言の写しはご要望に応じてお渡しすることが可能です。

FCC 適合宣言

本製品は、FCC 規則 Part 15 に準拠しています。取り扱いは、次の 2 つの条件の対象となります。

1. 本製品は、有害な干渉を発生させるものではありません。

2. 本製品は、不適切な動作の原因になりうる干渉を含め、受信したあらゆる干渉に耐えうる必要があります。

注意：本製品は、FCC 規則 Part 15 によるクラス B デジタル機器に適用される規制に準拠していることを試験によって確認済みです。この規制は、居住地域での設置において、有害な干渉を合理的に防止することを目的として制定されています。本製品は、無線電波エネルギーを生成および使用しているため、本取扱説明書に基づいて取り付けおよび使用しないと、無線電波を放射することがあり、無線通信に有害な干渉の原因となることがあります。一方、ある特定の設置方法で干渉が起きないという保証はございません。本製品は、無線またはテレビの受信に有害な干渉の原因となります。このことは、機器の電源をオフおよびオンにすることにより確認できます。ユーザは、次の 1 つまたはそれ以上の手段によって干渉の是正を試みることが奨励されます。

- 受信アンテナの向きや位置を再調整する。
- 本製品と受信装置の間の間隔を拡大する。
- 受信装置が接続されているコンセントとは異なる回路上のコンセントに本製品を接続する
- 販売店または経験豊富なラジオ／テレビの技術専門員に相談して支援を求める

使用者が製造者により明示的に許可されていない改造を行うと、FCC 規則に基づき本製品の使用権限が無効になる場合があります。

Videndum Production Solutions Ltd. は、本製品が BS EN ISO9001 に従って製造されていることを宣言します。

環境への配慮

European Union Waste of Electrical and Electronic Equipment（WEEE）Directive（WEEE 指令、2012/19/EU）

本製品またはその梱包物に記載されたこのマークは、本製品を一般的な家庭ごみと共に廃棄してはならないことを示します。一部の国々または EC（ヨーロッパ共同体）地域では、分別収集システムを設立して、電気および電子廃棄製品のリサイクル処理を行っています。

本製品の正しい廃棄を確実に行うことにより、環境および人の健康に対する潜在的な悪影響の防止に役立ちます。原料のリサイクルにより、天然資源を保全することができます。

本製品およびその梱包物の廃棄方法については、当社のウェブサイトを参照してください。

EU 以外の国々

地元の自治体の規制に従い、電気および電子機器のリサイクルに対応する集積所で本製品を廃棄してください。

廃棄電池の処理

本製品に含まれるすべての電池は、家庭ごみとして処理しないでください。これらの電池の正しい廃棄を確実に行うことにより、環境および人の健康に対する潜在的な悪影響の防止や天然資源の保護に役立ちます。

本製品から安全に電池を取り外す方法については、本書の 20 ページの「電池の交換」の項をお読みください。廃棄電池をリサイクルする場合、適切な集積所に電池を届けてください。

発行番号 S2077-4980/0

sachtler

Sachtler
A Videndum plc Brand

www.sachtler.com